

白鷹町の河川水質調査の

結果をお知らせします

今年度、町内の河川7カ所について、水質調査を実施しました。

調査時期は8月と11月の年2回、採水場所はいずれの河川も最上川に合流する手前の地点です。調査結果は表のとおりです。

◆表1

平成25年8月27日調査結果

◆表2

平成25年11月25日調査結果

◆別表3

生活環境の保全に関する環境基準環境（河川）



【表1】

項目 調査河川	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/L	浮遊物質 (SS) mg/L	溶存酸素量 (DO) mg/L	大腸菌群数 MPN/100mL
荒砥川	7.9	1.1	5	9.0	54,000
貝生川	8.4	1.2	19	9.5	17,000
思川	7.5	1.6	16	8.0	17,000
小鮎貝川	7.1	1.9	68	7.7	92,000
絹市川	7.6	1.4	36	7.9	35,000
八幡川	7.7	1.5	35	7.8	17,000
谷町川	7.2	1.3	36	8.9	13,000

【表2】

項目 調査河川	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/L	浮遊物質 (SS) mg/L	溶存酸素量 (DO) mg/L	大腸菌群数 MPN/100mL
荒砥川	7.7	0.8	2	11.4	3,300
貝生川	7.7	0.5	32	11.9	490
思川	7.6	0.7	5	12.1	4,900
小鮎貝川	7.3	0.7	7	11.2	790
絹市川	7.4	0.7	4	11.3	2,400
八幡川	7.5	0.6	8	11.5	4,900
谷町川	6.9	1.4	8	11.0	2,600

【別表3】

項目 河川類型	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/L	浮遊物質 (SS) mg/L	溶存酸素量 (DO) mg/L	大腸菌群数 MPN/100mL
A A	6.5 ~ 8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下
A	6.5 ~ 8.5	2以下	25以下	7.5以上	1000以下
B	6.5 ~ 8.5	3以下	25以下	5以上	5000以下
C	6.5 ~ 8.5	5以下	50以下	5以上	—
D	6.0 ~ 8.5	8以下	100以下	2以上	—
E	6.5 ~ 8.5	10以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2以上	—

←参考基準

調査を行った河川には環境基準が設定されていませんので、白鷹町付近における最上川の環境基準(A類型)を参考とします。

【考察】

調査結果をみると、8月については7月の豪雨による泥等の堆積により、生物化学的酸素要求量や浮遊物質、大腸菌群数が高くなっていると考えられます。11月については、各河川とも泥等の堆積が減り、安定した状態に戻ったように見受けられます。

水質調査の結果としては、大腸菌群数を除き、ほぼ参考基準を満たしていました。大腸菌群数が高くなる要因としては、動物の糞便由来の大腸菌だけでなく、土壌や植物など自然界由来する菌が多い傾向にあると考えられます。今回の調査結果では、生物化学的酸素要求量の濃度が継続して参考基準を超えた地点がなかったことから、おおむね良好な河川水質が維持されていると思われる。

■問い合わせ

町民課くらし環境係
85-6131